



SPRING HILL NEWS LETTER

名古屋は
濃い口
タレ派だぜ

飲み会がダメなら、焼肉を！

最近の若手は、飲み会がニガテで、忘年会・新年会を行わない企業も増えてきていると聞きます。若手と飲みケーションができないことで、悩まれている方も多いのではないのでしょうか。飲み会がニガテな若手でも、焼肉というのなら話は別という話があります。飲み会を、焼肉に言いかえると、参加率はグンと高まるようです。お困りの際は、一度「焼肉」という言葉で若手を誘ってみてはどうでしょうか。今回は、そんな焼肉についてお話を。多くの方が、お店の看板やポスターで、「和牛」「国産牛」と表記されているのを見たことがあると思います。でも、この違いがわかる方は少ないかと思えます。神戸元町辰屋さんによると、「和牛は、黒毛和種・褐毛和種・日本短角種・無角和種」。ちなみに但馬牛（神戸牛、松阪牛、近江牛などの素牛）が、黒毛和種になります。一方、「国産牛は、品種に関係なく全肥育期間の半分以上を日本国内で肥育された牛の総称」。海外の牛でも、3ヶ月間国内で飼育したら国産牛としていた時もあったようです。いまさらですが、私の個人的なアイデアになりますが、焼鳥という提案も案外若手に効くのではないかと思っています。いかかでしょうか。

焼肉も焼き鳥も、「塩派？」「タレ派？」



ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ

◆ 9月の語源が、7に由来しているという不思議 ◆

ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ

私が年齢を重ねたせいか、時間が過ぎていくのが早くなった気がします。実際、新年を迎えてから、今月まで早かったです。この感覚に、共感して頂ける方も少なくないのではないのでしょうか。今回は、その月についてのお話を。月の英語の語源をたどると不思議な由来があるのをご存知ですか。たとえば、9月の September は、ラテン語の septem(7)、10月の October は、ラテン語の octo (8)、11月の November は、ラテン語の novem (9)、12月の December は、ラテン語の decem (10) に由来。9月なのに7、10月なのに8…おかしいと思いませんか。これには、理由があります。旧ローマ暦が、1年を304日、10ヶ月に分けていたことに関係しています。当時は、現在の3月(March)を1月としていたので、Septemberは7番目の月。Decemberは10番目の月。旧ローマ暦では、農耕に関係しない現在の1月、2月を暦から外して現在の3月(March)を1月としていました。そのため、2ヶ月のずれが生じているのです。紀元前46年、ユリウス・カエサルが太陽暦を發布し、1年は365日とされ、4年に1度、閏年という現在の暦になりました。ところで昔の人も、私と同じように年齢を重ねていくうちに、時が過ぎていくのを早く感じていたのでしょうか。そんなことを、ふと考えました。

編集長「かじた」のつぶやき・・・

1時間「幽遊白書」をがっちり読んで、やっと診察までこぎつけました。蓄膿って怖いイメージしかないですよ？何か、鼻からグイッと管を入れられて「グリグリグリッ」ってやられたり、よく聞くのが、鼻から顔を「ベコーンッ」って剥がされて、膿を取って・・・みたいな手術とか・・・。いろいろ言われましたが、とりあえずやられたのが、鼻からカメラを入れられて、鼻水の出るところのチェックと、顔のレントゲンでした。鼻毛は「鼻毛クリーン」で取れてたはずですが、どうやら元に戻ったみたいでした・・・。(またやろかな)結局鼻の中のカメラ確認では、鼻水の出るところが小さくなっているとの事でした。そしてそれが原因で、鼻水の出る先がなくなり、蓄膿の症状として頬のあたりに鼻水が溜まりやがて膿となる・・・との事。そしてそれがレントゲン撮影の結果の「白い影」として頬に表れていました。そうです、この通りで私は「蓄膿確定」となりました・・・。何か結構ショックです・・・。蓄膿って治らないって言いますよね？やっぱり顔を「ベコーン」ってやんなきゃいけないのでしょうか？すごい嫌ですね・・・。今夜は眠れそうにありません・・・。つづく